

2013年2月7日
第4回知の市場年次大会

拠点：東京・丸の内 知の市場

産業安全論

連携機関：社会技術革新学会、石油化学工業協会

石油化学工業協会 岩間啓一
東京大学名誉教授 田村昌三

1. 「産業安全論」開講の趣旨

21世紀の安全・安心社会の構築に向けて、産業界は安全の確保のために懸命の努力を行ってきたが、近年、産業事故は連続して発生し、また、2011年3月には東日本大震災が発生し、地震動や津波による未曾有の被害や原子力発電所の事故等が起こった。産業安全や社会の安全・安心のためのリスク管理や危機管理のあり方について改めて考える必要がある。

我が国の産業の発展により、産業の高度化・多様化・国際化は進み、製造業においては、原料や製品、設備、オペレーション、管理の潜在危険は増大し、異常時等への対応が困難となった。また、合理化や世代交代が進む中で、中身を熟知していたベテランが職場を去っていった。一方、少子化、核家族化、国際化の進展の中で、価値観の多様化によるモチベーションの低下や、倫理観、危険への感性、社会性等の低下が見られるようになった。その結果、これまで日本の安全基盤を支えてきた強い現場力にかけりが見られるようになり、国際競争力の低下が心配されている。

技術立国を目指す我が国には、安全・環境に調和したものづくりによる国際先導性が期待されており、その意味においても、産業安全における現場力の再構築を図る必要がある。

そのためには、学会と産業界が一体となって、安全の基本について問い直し、最近の産業安全問題やその背景について考察し、これからの産業安全のあり方について検討するとともに、その基盤となる人材育成や社会安全環境の醸成を推進していく必要がある。

「産業安全論」においては、少人数制を採用し、産業安全のあり方について講師陣から話題を提供し、受講生からの話題提供や受講生との議論を行い、共に考えることにより、我が国のこれからの産業の安全を先導するリーダーの育成に貢献することを目指している。

2. 2012年度後期開講「産業安全論」の概要

平成24年度後期に開講した「産業安全論」の概要は以下の通りである。

科目番号：ET471

レベル： 上級

定員： 15名

講義回数：15回

期間：2012年10月2日—2013年1月22日

講義日時：毎週火曜日18時—20時

場所：日本リファイン大会議室

3. 「産業安全論」の講義内容

「産業安全論」はⅠ. 安全の基本、Ⅱ. 産業における安全問題と背景、Ⅲ. 産業安全の向上、Ⅳ. 産業の安全と社会における安全環境の構築のための安全教育・啓発の体系化、Ⅴ. 総合討論の5つのシリーズから構成されている。講義項目と講師を表1に示す。

Ⅰ. 安全の基本では、産業安全、社会安全のベースとなる安全の基本について述べる。次いで、Ⅱ. 産業における安全問題と背景では、産業安全問題の実状について産業界から話題提供を行い、その背景について考察する。Ⅲ. 産業安全のあり方においては、産業安全問題を踏まえて、産業安全のあり方について述べるとともに、産業界の優れた産業安全活動を紹介する。Ⅳ. 産業の安全と社会における安全環境の構築のための安全教育・啓発の体系化では、安全学、安全工学の体系化と役割について述べ、次いで、安全教育・啓発の体系化では、安全情報、安全活動、安全教育等の共有化と家庭教育からはじめる体系的な安全教育プログラムの構築と推進が必要であることを述べる。また、産業界における安全教育・啓発の共有化として、先進的な安全教育プログラムを紹介する。Ⅴ. 総合討論では、安全な社会の構築に向けて、安全の基本、産業安全、社会安全のあり方、安全教育・啓発について、受講者からの話題提供を基に総合討論を展開することにより理解を深める。

4. 次年度の開講内容及び目標と課題

2013年度後期開講予定の「産業安全論」は、講義期間を2013年10月7日—2014年1月17日、講義日時を月曜日18時—20時とするが、講義内容については、2012年度と同様の講義内容を考えている。

また、「産業安全論」の講師陣は化学安全の専門家が多いことから、化学産業安全を中心とした話題が多いため、受講者についても化学産業分野を中心に考えたいと思っている。

表1 産業安全論の講義項目と講師

I. 安全の基本 東京大学名誉教授 田村昌三

II. 産業における安全問題と背景

1. 産業における安全問題と要因（1） 石油化学工業協会技術部長 岩間啓一
2. 産業における安全問題と要因（2） 三菱化学（株）環境安全品質保証部アドバイザー 荒井保和
3. 産業における安全問題の背景 東京大学名誉教授 田村昌三

III. 産業安全の向上

1. 安全文化を考慮した産業保安 東京大学名誉教授 田村昌三
2. 現場力の強化 東京大学名誉教授 田村昌三
3. 産業安全に向けての産業界の取り組み（1）住友化学（株）レスポンシブルケア室環境・安全部長 平山隆一
4. 産業安全に向けての産業界の取り組み（2）J S R（株）環境安全部長 井村裕
5. 産業安全に向けての産業界の取り組み（3）三菱化学（株）常務執行役員 梶原泰裕

IV. 産業の安全と社会における安全環境の構築のための安全教育・啓発の体系化

1. 安全学・安全工学の体系化と社会貢献および社会における安全環境の構築 東京大学名誉教授 田村昌三
2. 家庭教育からはじまる体系的な安全教育プログラムの構築と実践 東京大学名誉教授 田村昌三
3. 産業界における安全教育・啓発と共有化（1）（社）山陽技術振興会副会長、人材育成室室長 池上正
4. 産業界における安全教育・啓発と共有化（2）三井化学（株）生産・技術本部生産・技術企画部技術研修センター長 森山義晴

V. 総合討論